

1

解答解説のページへ

1 個のさいころを 3 回続けて投げるとき、1 回目に出る目を l 、2 回目に出る目を m 、3 回目に出る目を n で表し、3 次式 $f(x) = x^3 + lx^2 + mx + n$ を考える。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) $f(x)$ が $(x+1)^2$ で割り切れる確率を求めよ。
- (2) 関数 $y = f(x)$ が極大値も極小値もとる確率を求めよ。

2

解答解説のページへ

次の 2 つの条件(i), (ii)を満たす自然数 n について考える。

(i) n は素数ではない。

(ii) l, m を 1 でも n でもない n の正の約数とすると、必ず $|l-m| \leq 2$ である。

このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) n が偶数のとき、(i), (ii)を満たす n をすべて求めよ。
- (2) n が 7 の倍数のとき、(i), (ii)を満たす n をすべて求めよ。
- (3) $2 \leq n \leq 1000$ の範囲で、(i), (ii)を満たす n をすべて求めよ。

3

解答解説のページへ

xy 平面上で考える。不等式 $y < -x^2 + 16$ の表す領域を D とし、不等式 $|x-1| + |y| \leq 1$ の表す領域を E とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) 領域 D と領域 E をそれぞれ図示せよ。
- (2) $A(a, b)$ を領域 D に属する点とする。点 $A(a, b)$ を通り傾きが $-2a$ の直線と放物線 $y = -x^2 + 16$ で囲まれた部分の面積を $S(a, b)$ とする。 $S(a, b)$ を a, b を用いて表せ。
- (3) 点 $A(a, b)$ が領域 E を動くとき、 $S(a, b)$ の最大値を求めよ。

1

問題のページへ

(1) $f(x) = x^3 + lx^2 + mx + n$ に対し, $f'(x) = 3x^2 + 2lx + m$

さて, $f(x)$ が $(x+1)^2$ で割り切れる条件は, $f(-1) = f'(-1) = 0$ から,

$$-1 + l - m + n = 0 \cdots \cdots \textcircled{1}, \quad 3 - 2l + m = 0 \cdots \cdots \textcircled{2}$$

②より, $m = 2l - 3 \cdots \cdots \textcircled{3}$ となり, ①に代入して,

$$n = 1 - l + 2l - 3 = l - 2 \cdots \cdots \textcircled{4}$$

③④を満たす 1 以上 6 以下の整数 l, m, n は,

$$(l, m, n) = (3, 3, 1), (4, 5, 2)$$

よって, 求める確率は, $\frac{2}{6^3} = \frac{1}{108}$ となる。

(2) 関数 $y = f(x)$ が極大値も極小値もとる条件は, $f'(x) = 0$ が異なる 2 実数解をもつ条件に等しいので,

$$D/4 = l^2 - 3m > 0, \quad m < \frac{l^2}{3} \cdots \cdots \textcircled{5}$$

⑤を満たす 1 以上 6 以下の整数 l, m は,

$$(l, m) = (2, 1), (3, 1), (3, 2), (4, 1), (4, 2), (4, 3), (4, 4), (4, 5),$$

$$(5, 1), (5, 2), (5, 3), (5, 4), (5, 5), (5, 6), (6, 1), (6, 2),$$

$$(6, 3), (6, 4), (6, 5), (6, 6)$$

n の値は任意なので, 求める確率は, $\frac{20 \times 6}{6^3} = \frac{5}{9}$ となる。

[解説]

確率の基本問題です。(1)は, 直接的に割り算をして余りが 0 となる条件を求めても OK です。

2

問題のページへ

(1) n が偶数のとき $n = 2k$ とおくと、条件(ii)より、必要条件として、

$$|k-2| \leq 2, 0 \leq k \leq 4$$

さらに、条件(i)を考え合わせると、 $2 \leq k \leq 4$ となり、 $n = 4, 6, 8$ である。

(a) $n = 4$ のとき 1, 4 を除く正の約数は 2 だけであり、条件を満たす。

(b) $n = 6$ のとき 1, 6 を除く正の約数は 2, 3 であり、条件を満たす。

(c) $n = 8$ のとき 1, 8 を除く正の約数は 2, 4 であり、条件を満たす。

(a)~(c)より、 $n = 4, 6, 8$

(2) n が 7 の倍数のとき、(1)と同様にすると、

$$|k-7| \leq 2, 5 \leq k \leq 9$$

(1)より、偶数を除くと、 $n = 35, 49, 63$ である。

(a) $n = 35$ のとき 1, 35 を除く正の約数は 5, 7 であり、条件を満たす。

(b) $n = 49$ のとき 1, 49 を除く正の約数は 7 だけであり、条件を満たす。

(c) $n = 63$ のとき 1, 63 を除く正の約数は 3, 7, 9, 21 であり、条件に反する。

(a)~(c)より、 $n = 35, 49$

(3) $31^2 = 961$, $37^2 = 1369$ に注目して、(1), (2)と同様に考える。

(I) n が 3 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 3^2, 3 \times 5$

(II) n が 5 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 5 \times 3, 5^2, 5 \times 7$

(III) n が 11 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 11^2, 11 \times 13$

(IV) n が 13 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 13 \times 11, 13^2$

(V) n が 17 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 17^2, 17 \times 19$

(VI) n が 19 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 19 \times 17, 19^2$

(VII) n が 23 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 23^2$

(VIII) n が 29 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 29^2, 29 \times 31$

(IX) n が 31 の倍数のとき 条件を満たすのは、 $n = 31 \times 29, 31^2$

(I)~(IX)に、(1), (2)の結果を合わせると、 $2 \leq n \leq 1000$ の範囲で条件を満たす n は、

$$n = 4, 6, 8, 9, 15, 25, 35, 49, 121, 143, 169, 289, 323, 361, 529,$$

$$841, 899, 961$$

[解説]

(1)と(2)が実験となっています。(3)では、前問の勢いが残ってしまい、同じ調子で羅列しました。

3

問題のページへ

- (1) 領域 D は、放物線 $y = -x^2 + 16$ ……①の下部であり、右図の網点部となる。ただし、境界線は含まない。

領域 E は、中心が点 $(1, 0)$ である正方形 $|x-1| + |y| = 1$ の内部であり、右下図の網点部となる。ただし、境界線は含む。

- (2) 領域 D に点 $A(a, b)$ が属するので、 $b < -a^2 + 16$ ……②

さて、点 $A(a, b)$ を通り傾きが $-2a$ の直線の直線は、

$$y - b = -2a(x - a), \quad y = -2ax + 2a^2 + b \dots\dots\dots③$$

①③を連立して、 $-x^2 + 16 = -2ax + 2a^2 + b$

$$x^2 - 2ax + 2a^2 + b - 16 = 0$$

②より、異なる実数解をもち、 $x = a \pm \sqrt{-a^2 - b + 16}$

この解を $x = \alpha, \beta$ ($\alpha < \beta$) とおくと、①③で囲まれた部分の面積 $S(a, b)$ は、

$$\begin{aligned} S(a, b) &= \int_{\alpha}^{\beta} -(x^2 - 2ax + 2a^2 + b - 16) dx \\ &= \int_{\alpha}^{\beta} -(x - \alpha)(x - \beta) dx = \frac{1}{6}(\beta - \alpha)^3 \\ &= \frac{1}{6}(2\sqrt{-a^2 - b + 16})^3 = \frac{4}{3}(\sqrt{-a^2 - b + 16})^3 \end{aligned}$$

- (3) 点 $A(a, b)$ が領域 E を動くとき、 $|a-1| + |b| \leq 1$ ……④

また、(2)より、 $-a^2 - b + 16 = k$ ……⑤とおくと、 $S(a, b) = \frac{4}{3}(\sqrt{k})^3$ となり、 k が最大となるとき、 $S(a, b)$ は最大値をとる。そこで、 ab 平面上において、④と⑤が共有点をもつ k の最大値を求める。

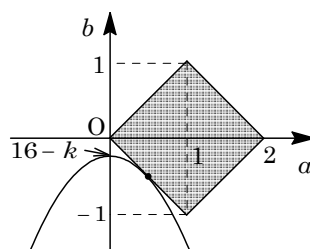
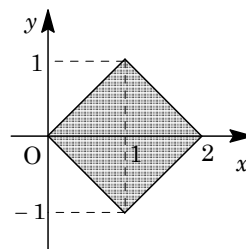
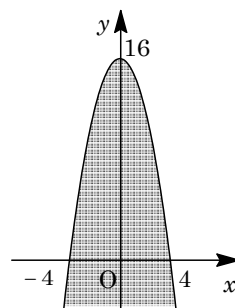
さて、⑤から $b = -a^2 + 16 - k$ ……⑥となり、④の境界線 $b = -a$ と接するのは、⑥から $b' = -2a$ となるので、

$$-2a = -1, \quad a = \frac{1}{2}$$

このとき、 $b = -\frac{1}{2}$ となり、 $16 - k \geq \left(\frac{1}{2}\right)^2 - \frac{1}{2} = -\frac{1}{4}$

$$k \leq 16 + \frac{1}{4} = \frac{65}{4}$$

以上より、 $k = \frac{65}{4}$ のとき、 $S(a, b)$ は最大値 $\frac{4}{3}\left(\sqrt{\frac{65}{4}}\right)^3 = \frac{65}{6}\sqrt{65}$ をとる。



[解説]

領域が絡んだ微積分の標準レベルの総合問題です。